



福島県立梁川高等学校
学校だより
知性 誠実 責任
第 15 号
令和3年2月26日（金）

同窓会入会式

まもなく弥生3月を迎えようとしている本日、同窓会役員の皆様をお迎えして、同窓会入会式が行われました。式では同窓会会長様より以下のごあいさつをいただきました。

この度、晴れて梁川高等学校を卒業予定の皆さん、本日の母校同窓会の入会式に出席いただきありがとうございます。

昨年度は、記念すべき学校創立100周年を迎え、同窓会員数は約13900名に達しております。皆さんは同窓会規約に基づき卒業と同時に会員となり、会員の親睦と教養を深め、あわせて母校の発展に寄与することを目的に活動することになります。

さて、君たちの高校3年間の生活、希望に満ち溢れた1年生や2年生の時は順調に勉学や部活に一生懸命頑張ったことでしょうか。しかしながら、2年生の12月、中国に端を発した新型コロナウイルス感染症がまたたく間に世界中に蔓延し、この感染症拡大防止対策のため、休校や部活の自粛で活動が制限されるなど、自分が目標としていた学校生活が奪われ、悔いの残る最終学年だったかと思えます。

また、2年後の2023年4月には、少子化が要因とされる、県立高等学校の再編成計画で梁川高校と保原高校が統合され、現在の保原高校に新しい高校ができることとなります。計画どおり実施されれば、最後の梁高生は、来年2022年4月の新入生となり、2025年3月、梁川高校は長い歴史に幕を閉じることとなります。

コロナ禍の中で満足な進路活動もできないままに、学び舎を巣立つわけですが、君たちには若さ、バイタリティがあります。コロナ禍に負けず、失敗を恐れず、希望をもって前進し、世界をリードする日本の一員になってください。母校の先輩として期待しています。

終わりに、君たちの同窓会への入会を歓迎します。若い力で、同窓会会員の仲間として、母校及び在学生のために頑張りましょう。

令和3年2月26日

梁川高等学校同窓会会長

また、校長からは次のあいさつをしました。

本日は、お忙しい中、同窓会役員の皆様にお出でいただき、ありがとうございます。

3年生の皆さん、皆さんが卒業することで、本校の卒業生は、大正8年の創立以来、13847名となります。同窓会の同窓とは、同じ学校で学んだ人ということです。皆さんの先輩方は、伊達地区、福島県内そして県外と各方面で活躍されています。皆さんもその仲間入りをするようになります。地元には、同窓生がたくさんいらっしゃいます。もしお会いする機会があれば、学校のことを話題にしてみてください。

皆さんは、梁川高校の卒業生です。そのことを胸に、母校である梁川高校を通じての結び付きを大切に、これからの人生を力強く歩んでいってください。